

輝き

三木市立三木特別支援学校 学校通信 No.9 令和6年2月1日

ご寄付をいただきました

学校ホームページにも掲載しましたが、この度2社様からご寄付をいただきました。株式会社エムクライム様と山陰合同銀行様です。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

1月23日に本校で贈呈式をしていただきました。贈呈式の中でエムクライム社長様より、会社として社会貢献に取り組んでいる。その一環として、今回は本校にご寄付をいただいたことを教えていただきました。また、特に本校とこれまで関わりがあったのではなく、障がいのある子どもたちを支援したいというお考えからのご寄付であるとのことでした。お話を伺い、本校の子どもたちのことを気にかけていただいたことに感激し涙があふれる思いでした。

この機会に感じたことがあります。地域貢献や社会貢献を考えている企業はたくさんある。また、障がいのある人のことを気にかけている方も、たくさんいる。そのような会社や人たちと本校の子どもたちをつなぐことができれば、子どもたちの将来は変わってくるのではないかと。大きくは変わらなくても、地域の雰囲気や子どもたちを取り巻く環境は少しずつ変わるのではないかと思います。私たちは子どもと日々ふれあっているのです。子どもたちの状態や関わり方が分かります。一方、関わる機会のない方は、関心はあるけれどどう関わっていいかわからないとか、関わるための糸口がわからないとか、思われているのではな

いか。そのような人たちと子どもたちをつなぐことができれば、子どもたちの世界は広がり、社会も変わっていくのではないかと。このような役目を学校が担うときが来ていると思いました。

本年度の学校教育目標を「個性をのぼし社会とつながる」としました。子どもたちが社会とつながるためには、子どもたちの成長だけでなく、私たち大人がつながりのある社会をつくっていくことが求められています。子どもたちの将来の社会参加に向けて、子どもに関わる者として果たすべき役割をしっかりと果たしていかないと、改めて感じています。

感染症対策

インフルエンザ等の感染症の流行が衰えません。1月末に小学部の学部閉鎖をしました。10月にも中学部の学部閉鎖をしています。他校でも同様の状況が見受けられます。これからも感染症予防を十分に図りながら、できる限り通常の学習活動を行っていきます。保護者の皆様には引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

今年度も残り2か月となりました。これまで、「何か楽しいこと。何かおもしろいこと。」を合言葉に、学習活動に取り組んできました。残りの期間は短いですが、同じ思いを継続していきます。どうぞよろしくお祈りいたします。

校長 橋本 泰一